

42.195

VOL 1

いつの間にかやら梅雨も明け、猛暑駆け抜ける八月となりました。それでも、

早朝の風が心地良く感じる今日。この頃、皆持いかがお通しでしょうか？

今から一念発起「42.195」と題しまして、その時々思った事、感心事を書き綴り

いってみようと思います。と、ここで綴りが解かりませんが、おうま合っ頂ければ幸いです。

今回は初回ですので、我社の小平秀樹店長の事を書かせて頂きます。彼は新卒で入社した旅行会社の一年先輩、後輩の中、以果、二十年果のつぎ合いです。その後自分も行く建築の道へ入らせて頂くわけですが、独立する時に必死に誘い、一年かけて口説きました。彼は新しいこの仕事を始めるやいなや、仕事の鬼となり、毎晩午前様、休みも取らず、知識や技術の習得と共に、営業と施工もゴツゴツとお客様に100%満足してもらうまでやり切り続けていきます。その間に難しい建築士の資格免許も取り、又さらに仕事の見識をためようとさらなる努力と勉強を重ねています。

そんな彼の姿や行動は、自然とお客様の輪を引け、今では、いよいよ私にお仕事の依頼のお話をいただく様になって、います。そんな姿を十数年見続けてきて思うのですが、転職もゼロからの出発で困難な事の方が多かたかと思いますが、常に仕事に真正面から、全力投球で立ち向か、てく姿には、感動します。彼を見ていると、自分も自分の殻をさらに破る事にチャレンジして、こうと奮い立つ想いです。

数年前、「上司としてお手本とさせて頂いている方の話を二人でした事があります。元、我々二人の上司で松本さんという方で、特に「やりぬく」姿と「気くばり」という点で、勉強させて頂いたという話です。この夏、その松本さんも日本航空を定年退職され、ます。形や場所を変えて、印象に残る人間の生き様は、どこかで必ず受け継がれていくものだと思えます。そしてそれは、一人でも多くのお客様の幸せを応援させて頂くものと信じます。

平成二十七年七月吉日、多田 良雄